

会 報

やまばと

(第85号)



発行

社会福祉法人 浄泉会
 秦野市渋沢2620-2
 TEL 0463 (87) 1188
 発行人 岡部 一郎

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp
 URL
<http://yamabato.org/>

理事長挨拶

社会福祉法人浄泉会

理事長 岡部 一郎

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えられたことを心から感謝申し上げます。皆様にとつて、健康と幸せに満ちた一年でありますよう、お祈り申し上げます。元日から能登半島地震、翌日には羽田空港での航空機事故が発生し、大変な年明けとなつてしまいました。ライフラインが途絶え復旧も思うように進んでいない状況となつていますが、震災や事故にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。少しでも早く元の生活に戻れることを願っています。



さて、私が理事長に選任されてから6か月が経ちました。日々、利用者様、ご家族の皆様、職員、地域の方々、法人に関わってくださっているすべての皆様に支えていただいていると、ひしひしと感じています。ありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、社会的にも個人的

にも大きな困難に直面された方が多くいらつしやつたと思います。私たち社会福祉法人浄泉会も、利用者様や職員の安全を最優先にしながら、感染防止対策に努めてまいりました。その中で、ご家族や地域の皆様からの温かいご支援やご協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

本年は、コロナ禍が収束することを願いつつ、利用者様の安心・安全なくらしを支援するために、さらなるサービスの充実や改善に取り組んでまいります。また、デジタル技術などの最新の技術を活用して、利用者様の生活の質の向上や職員の負担軽減につなげてまいります。さらに、多様な人材や個性を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンの観点から、人がより生かされる組織づくりに努めてまいります。

また昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会福祉を取り巻く環境にも大きな変化が

ありました。

社会保障制度の改革が進められ、社会福祉の役割がますます重要になってきています。

このような変化に対応し、皆様に質の高いサービスを提供し続けるために、法人として次の取り組みを進めてまいります。

○職員のスキルアップを図り、質の高いサービス提供に努めます。

○地域の皆様と連携し、地域福祉の推進に努めます。

昨年は地域の皆様のご理解を得て、新たなグループホーム「パロマハウス」（4名入居予定）を開設し、現在2名が生活されています。今年度中には4名で暮らすこととなります。

今後も、皆様のご期待に添えるよう、努力してまいりますので、今後ともご

支援を賜りますよう

お願い申し上げます。



新年の挨拶

保護者会 会長 細谷 和実

あけましておめでとうございます。
日頃は保護者会活動に、ご理解ご協力いただき感謝申し上げます。
令和五年五月八日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが「五類感染症」となり制限の緩和で従前の生活に戻りつつありますが、収束した訳ではありませんので引き続き注意が必要です。保護者会活動では四年ぶりに懇親会を開催し多くの保護者、学園職員の方の参加があり和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことが出来ました。本年は各種行事を利用者と保護者が一緒に参加出来ることを改めて願うばかりです。



保護者会として利用者が心身とも健全で安心安全な日常生活が送れるよう学園に協力し利用者支援に主眼を置いてまいります。
本年も何卒よろしく
お願い申し上げます。

新年の挨拶

はとの会 会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうござい
ます。

毎年はこの会に沢山のご協力を
ありがとうございます。

昨年は地球温暖化で十月になつても三十度越えて長い夏が続きましたね。

それでも利用者は支援員さんのアイディアで移動動物園、クレール屋さんと呼んで
行事をコンパクト
にして楽しませて
くださり、皆元氣
に過ごして満足で
ストレスも貯まら
ずに、大事な友達と仲良く衣食住
を共に出来たのは支援員さんのき
め細かな支援に感謝するのみです。



昨年末の懇親会には忙しい中、沢山の若い支援員の方が参加して頂き、パワーを頂きました。

今年はコロナ禍の前のように全
体の行事が出来て皆の笑顔に会え
ることが楽しみです。

今年もはとの会（後援会）の為
に今迄同様の応援を宜しく願
います。

第三十二回 秋祭り

生活支援課 岡 学



当法人の所在する秦野市の秋祭
りであれば、たばこ祭りを想起さ
れる方も多いかと思えます。かつ
て葉たばこの名産地として知られ
た秦野も昭和末期に葉たばこの耕
作を終えましたが、たばこ祭りは
令和となっても開催され続けてお
ります。私は個人的に、秋祭りとは
秋祭りを開催できる環境に感謝
する機会、昨今の疫病や大震災を
乗り越えて秋祭りを迎えられる事
に感謝する一年の節目であると解
釈しております。本年度のやまば
と学園の秋祭りは利用者様と職員
のみの参加となつてしまい、楽し
みにされていた利用者様ご家族に
はご心配、ご迷惑をお掛けしてし
まいました。しかしながら利用者
様は音楽鑑賞やキッチンカーでの
飲食、模擬店でのゲームなどの催
事を存分に楽しまれ、大きなトラ
ブルもなく恒例
行事の秋祭りとして役割を充
分に果たすこと
ができたと思
っております。

移動動物園

生活支援課 内田 光

今年もコロナ禍によるバス旅行の代替イベントとして移動動物園カントリーファーム様にお越しいただきました。今年は暖冬で爬虫類の動きが活発だった為、蛇や大きなトカゲも連れて来て下さいました。蛇の首巻き体験という貴重な体験もできました。その他にはウサギやモルモット、鳥類も来て、抱っこしたり、エサをあげたり皆様とても楽しむ事ができたと思います。

動物とのふれあいは癒しの効果があり、心身に良いとされています。普段の学園生活ではなかなかできない体験をする事ができる、この移動動物園はとても素敵な行事だと思えます。これからもこう

蛇の首巻き体験しました?!



いった企画を通して、利用者様に
り学園生活を楽しんで頂
きたいと思
います。

クリスマス会

生活支援課 水島紘樹

当初六月に開催を予定していたレクリエーションフェスティバルですが、学園内で新型コロナウイルス陽性者の確認に伴い開催が延期となつてしまいました。この度レクリエーションフェスティバルの代替え行事としまして、十二月十六日にクリスマス会を行ないました。一部では栄養・調理職員による手作りお弁当を利用者様へ提供し、二部では多目的室で演奏会を行いました。

事前に利用者様にはリクエスト曲を聞き演奏時に一緒に歌ってもらいました。歌い始め緊張している様子でしたが、横にいる職員と一緒に歌うと楽しそうに歌っていました。又利用者様の中には普段音楽を流しても興味を示さない方も手拍子するなど楽しまれている様子でした。

一年の終わりに利用者様にとって楽しいひと時となつたら嬉しいです。



ニーズ外出「博物館」

生活支援課 松居 大樹

昨年十月十七日に生命の星地球博物館へ行ってきました。天気は雲一つない快晴で外出日和でした。車中では利用者様が「博物館楽しみ！」と職員にお話していて、とても微笑ましかったです。



博物館では動植物などの生き物や、宝石や石などの鉱物をキラキラとした目で見つめ、「これ可愛い！」「これ綺麗！」などとお話ししながら回っていました。見学

後は館内のレストランで美味しい料理を堪能しました。お土産コーナーでは、自分や家族のお土産を、時間を掛けて真剣に選ぶ姿がありました。

帰路「楽しかった！」「また行きたい！」という声を聞くことができました。

利用者様にとってよい思い出の博物館外出になりました。

ニーズ外出「水族館」

生活支援課 山本 追風

十一月下旬に職員含め六名で江ノ島水族館へお出掛けしました。水族館に到着し観て回りましたが意外にも利用者様は興味を示すものが少なく次々と散歩コースのうにブースを回つてしまいました。



＜新江の島水族館にて＞

イルカショーには、興味を惹かれたように拍手や歓声をあげながら見ている方もいました。もう一つやいました。昼食は「井万次郎」海鮮井屋さんでした。水族館のお魚よりも興味を示し嬉しそうにあつという間に平らげてしまいました。食べ終えるともっと欲しいとアピールする姿も見られました。

新年を迎え、凛と咲く草木のようには背筋をただす日々です。今後利用者様が楽しめる企画を考えたいです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

福祉展バザー

生活支援課 横山 由希子

十月二十一日(土)にメタックス体育館はだのにて、秦野市福祉展バザーが行なわれました。当日は、スポーツ大会も開催されており、沢山の方がお越しくださいました。

毎年、来てくださる方々は「やまばと」作品をよくご存じで、新しい作品が並べると直ぐに分かってくださいました。お陰様で新しい作品は、完売しました。制作する利用者様の作業意欲に繋がっていくと感じます。

また、他事業所作品の制作過程などを聞くことができ、大変参考になりました。

今後このような機会を大切にしながら地域の皆様にご利用者様の作品を知っていただけるよう、取り組んでいきたいと思



ミカン狩り
通所支援課 主任 峰尾 俊

十二月とは思えない暖かい陽気の日に、恒例となっているミカン狩りに利用者様十五名と共に往つて参りました。ミカン畑に到着するなり「もうミカン採つていいの？」と手にハサミを持ち、準備万端やる気満々な姿がみられました。採れたてのとても甘いミカンをその場で頂き、帰りには更にたくさんミカンをお土産に頂き「また来年も来るよ」と約束しミカン畑をあとにしました。

新人挨拶
地域支援課 近藤 亜希子

七月よりやまばとハウスで働いています近藤亜希子です。前職は軽度知的・精神障がい者のグループホームで四年ほど働いていました。コミュニケーションをとるのが難しい利用者様に日々悪戦苦闘し、落ち込む事ばかりです。そんな中、先輩の助言が支えとなり、支援の難しさが楽しさに感じられるようになってきています。利用者様に寄り添い楽しみながら働けるようこれからも頑張りたいです。

新人挨拶
地域支援課 飯澤 佑太

九月に入職させて頂きました、飯澤佑太と申します。入職してから約四ヶ月となりますが、日々を大切にしながら、また目標を持ちながら過ごすことができていて、利用者様との出逢い、そして職員の皆様との出逢いへ感謝しております。今後も向上心と謙虚な気持ち、明るさを大切にしながら業務を遂行し、法人、学園の一員としての自覚を持ち、成長していきたいと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

「寄附をいただいた
方々のご紹介」

令和五年十月～十二月

- やまばと学園保護者会
- 武田税理士事務所 武田圭子様
- 加藤 明子様
- 小暮 哲也様
- 高橋登美雄様
- 戸川 峯雄様
- 藤澤 實 様

(順不同)

貴重な浄財を有難うございました。



ボランティア便り

令和五年十月～十二月

貴重なお時間をさいて、ボランティアにお越しいただきました。

- ・手打ちそば「くりはら」様
- ・ミカン狩り

西本 義昭様
西本 利子様



蕎麦打ち実演

ミカン山にて



編集後記

新年あけまして

おめでとうございます。

令和六年一月一日に起こった能登半島地震では、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。心を一つにして、私共で出来る支援活動をして参ります。会報「やまばと」では皆様に笑顔になっていただけるよう明るい話題をお届けしていきますの本年も何卒宜しくお願い致します。(遠藤)



社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円
会員には会報「やまばと」が郵送されます。		

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)

どこの郵便局でも 00220-5-14491 です。

口座名は浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」
新しく会員になられる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会係担当

〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2

Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています